



森のなかま

2026年 1月号

NO. 211 (継続356号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 黒川 敏史
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

かながわ森林インストラクターの会の皆様

理事長 黒川敏史

昨年は、県民参加の森林づくり、ネットワーク企業・学校などのインストラクター募集に積極的に応募いただき、また安全に参加者の満足をもらいながら活動を完了していただき、ありがとうございました。引きつづき来年もよろしくお願ひします。

我々を取り巻く状況を見てみると、企業のSDGs活動によるCS(顧客満足)のために森林活動にニーズが高まっており、神奈川県の森林再生パートナー企業の数は62に達しており、2023年からの3年で24団体が加わりました。主にこのパートナー企業の環境保全活動の要望が神奈川県一かながわトラストみどり財団一かながわ森林インストラクターの会と経由して皆様インストラクターの出動となるわけで、皆様の活躍がますます期待されています。

4月からは、活動実費値上げが認められ、皆様にお渡しできる金額が4500円になります。会の収支は厳しい状況ですが、ITを使って管理業務の合理化を図っていく取り組みもあり、いろいろ慣れないこともあるかも知れませんが、ご協力よろしくお願ひします。

さらに「森と人をつなぐ」森林インストラクターとして、都市部の人たちに森林に興味を持つもらう使命もありますので、関連した新しい取り組みも徐々に増えていきます。

よろしくお願ひします。

日本触媒・湯河原万葉の森 「自然共生サイト」に認定

日本触媒の森事業部 9期 内野ミドリ (前事業部長)

この度、大変嬉しい報告をいただきましたのでお知らせいたします。

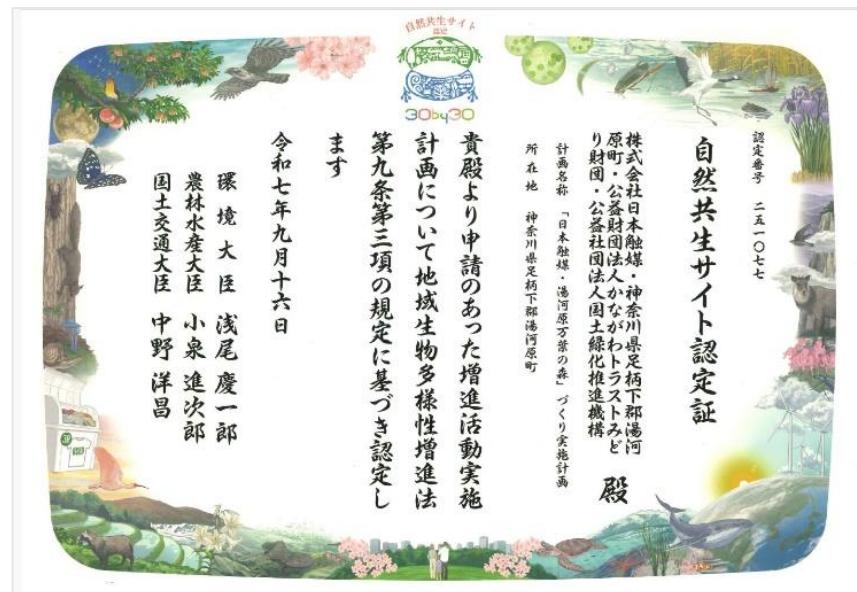
当会が公益財団法人かながわトラストみどり財団との業務委託契約に基づき活動している日本触媒・湯河原万葉の森（以下湯河原万葉の森）が環境省の「自然共生サイト」に認定されました。「自然共生サイト」とは、民間の取り組み等により生物多様性の保全が図られている区域を指し、株式会社日本触媒様が申請をされていました。

2012年から活動を開始した湯河原万葉の森は、1年間の準備期間をおいて、2013年11月に大勢の社員さまと関係者さまをお迎えして開所式をおこない、本格的な活動を始めました。地元も「湯河原初 企業が育てる森」と企業ボランティアによる育林に大きな期待を寄せていました。

活動の概要は、次の通りです。

- ・湯河原町所有の人工林で標高300m～700mにあり主にヒノキの育つ森
- ・社会貢献活動の一翼
- ・豊かな森を育てるとともに、森に親しみ、ふれあいながら自然環境を学ぶ場として活用

これらの目標に沿って、当初は人工林内で定点調査地（20m×20m）とコドロート（2m×2m）の調査などを中心に、30年生以上になったヒノキの間伐、林内の散策コースの選定と整備・植物相調査、林内に流れる沢の整備などをおこない、湯河原万葉の森ならではの発見が多くありました。その後、センサーダイヤルを設置し野生動物の調査も始めました。活動ごとに出会えた動植物を記録していくので、その資料を基に2016年3月に「日本触媒・湯河原万葉の森 花ごよみ」を、2019年5月に植物120種、いきもの43種を掲載した花ごよみの増補改訂版を発行しました。その後も新出の動植物を記録中です。



年3回（春・夏・秋）の体験活動（現在は春・秋の2回）に参加される方々が、安全に楽しく活動されるように、環境の保全と林内整備にも力を注ぎました。特にコロナ禍の間は、活動エリアを巡回しながら環境の保全と林内整備を続け、新規に希少な動植物を発見しました。メンバーの気持ちは一丸となって、開所記念に植栽した少花粉スギ、2年目に植栽した広葉樹（クヌギとコナラ）の保育活動と、10周年記念に植樹するために活動エリア内で芽を出した広葉樹の実生を苗畠で育てていました。

生物多様性を意識して活動を継続していたわけではありませんが、「安全に楽しく森に親しんでいただけ」と常に考え続けていたことが「自然共生サイト」の認定に役立ったことは嬉しく思います。湯河原万葉の森の活動に参加された多くの先輩方や仲間たちと、この喜びを分かち合いたいと思います。この活動で、調査と整備の各リーダー的存在で牽引してくださった二人から、「自然共生サイト」認定にコメントを寄せてもらいました。

「自然共生サイト」に認定されたのは喜ばしい限りです。他と変わらない普通の森でしたが、力を合わせて地道な調査・整備を続けることで様々な発見をし、豊かな森が育まれているのだと思います。さらなる発展を目指しましょう。<9期 女川 修>

経路補修は、社員や家族特に子供たちが安全に使いやすいよう部分的ではあるが実施し、材料は自然環境を考慮し現地内の間伐材を使い結束するものは金物類を極力さけ、地形に合うよう安全に雨水対策も配慮し作業実施したことが印象に残ります。今後も継続して補修作業を行う必要があると思います。

<9期 辻村 寿>

今年度から事業部長を後任に引継ぎ、新たなメンバーも加わってフレッシュな活動を展開しています。10周年記念に植樹した広葉樹が紅葉の美しい森へと成長する様子を見守りたいと思います。

(写真：2022.11.19 秋季体験活動 散策Aコース自然観察)



森の案内人☆特別企画 やどりきの森へ行こう
第2回：渓流散策とやどりきの成り立ち～水源林の成り立ちを探ってみよう～

日時：令和7年10月4日(土) 8:30～15:00 小雨

場所：やどりき水源林

参加者：22名

講師：中村俊文先生（神奈川県立生命の星・地球博物館 外来研究員）

インストラクター：L水口⑨、上宮田⑪、藤井敏⑭、広浜⑯、藤田⑰

第2回やどりきの森へ行こう「渓流散策とやどりきの成り立ち～水源林の成り立ちを探ってみよう～」を実施しました。

当日はあいにくの小雨模様となり、準備していた小雨バージョンのプログラムに急遽変更しての実施でした。雨が弱い朝のうちに、滝郷ノ滝と河原を散策し、本格的な雨の予報が出ていた午後は休憩棟で講義としました。

まず1, 2班が滝郷ノ滝に、3, 4班は広場で自然観察です。滝郷ノ滝では「滝はなぜできるのか?」「岩肌の赤いのは何なのか?」という話を中村先生から伺いました。滝郷ノ滝の岩は概ね白っぽい色をしており、流紋岩質の岩だろうということでした。広場では香り始めたカツラの木や、アカエゾマツの皮がむけているところに鹿の毛がついているところなどを観察しました。



次に渓流散策で「河原を少し歩いて流れ沿いにある大きな岩3つをよく観察して歩いてください」という先生の声掛けで、みんなでじっくりみながら歩きました。これらの岩は、白っぽい岩の中に角ばった黒っぽい石がいくつも入っているような様子をしていました。角ばっているのは河原の石のように摩耗する間もなく、黒い石が割れた直後に白っぽい流紋岩質の火碎物に巻き込まれた火山碎屑岩といつてよいのではないかということでした。



雨が気になるので渓流散策は早めに切り上げ、林道コースを歩きます。経路沿いでは緑がかった色をした石が多くみられました。これらは主に火山礫凝灰岩と呼ばれる火山の噴火の噴出物が固結したものだそうです。林道コース終点地で沢に下り、大きな枕状溶岩の観察です。枕状溶岩は海中でマグマが爆発せず固まった岩で、丸みを帯びた形をしています。今の丹沢は山地ですが、遠い昔に海の中で生まれた火山であることがわかる証拠であることの説明を受けました。



午後は、室内で丹沢の成り立ちについてのプロジェクトを使って講義をしていただきました。「1700万年前頃に海底火山が噴火し海底に溶岩や火山碎石物が堆積し、フィリピン海プレートの北上により800～500万年前に本州に衝突し、本州の一部となった。また、500万年前頃に大規模な花崗岩質マグマが丹沢地塊に貫入・固結、このときの熱・圧力による変成岩が現在もたくさん見られる。」など、さまざまな話をわかりやすくお話ししてくださったので、参加者のみなさまも熱心に聞きいっていました。休憩棟の外には、先生のコレクションからいくつかの石を置いてくださいり、講義後の短い時間ではありましたが、解説もしていただきました。

普段はあまり気にしない石や岩でしたが、触れたり話を聞いたりしたことで、見方が変わった時間になったのではないかと思います。
 (記 藤田 あづさ⑰、写真 内田 祐子⑰、渡辺 友美⑱)

活動短信

今回の掲載はR7年11月1日からR7年11月16日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

1月(睦月)(旧暦12月 師走)の

二十四節気、七十二候、鳥こよみ

小寒 1/5 大寒 1/20、雪下出麦 (ゆきくだりてむぎいづる 12/31~1/4) 降り積もる雪の下で麦が芽を出す頃。雪の下は意外と暖かいです。**鳥こよみ** : 黒いベレ帽に赤い頬。頬が赤いのは雄。ころつとした体型も愛らしいウソ(鶯)は、鳴き声が口笛(古語でオソ)に似た鳴き声が名前の由来。木彫りの鶯を交換しあう鶯替えは、鶯が嘘に通じることから、前年の災厄を嘘として本年は吉となることを祈念する神事です。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明

以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。
送付先は最終ページに掲載。

◆ 活動団体・活動名 等

日	日付: 令和x年x月x日(曜日)時間、天気
場	場所: 例 相模原市緑区 長竹承継分収林
参	参加者: 人数
県	例 神奈川県 環境農政局 緑政部 水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財	(公財)かながわトラストみどり財団、 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師
ス	例 小田原市森林組合XX様 例 川崎市公園緑地協会・XX様
イ	インストラクター① (○数字:期) <input checked="" type="checkbox"/> 研 研修枠
活	活動内容: 例 午前 間伐、午後 クラフトと自然観察 写真、活動詳細も受け付けます(任意)。

◆ アマノ株式会社様 間伐作業

日	令和7年11月1日(土) 10:00~13:00 晴れ
場	相模原市緑区 長竹継承分収林
参	23名(大人19名、子供4名)
県	水源環境保全課 水源事業グループ 星様、熊谷様
イ	L牧石⑭、井出①、上田⑩、松石⑬、田島⑰、森本⑰
活	午前 間伐

◆ TJAS 森林再生ボランティア活動

(月島JFE アクアソリューション株式会社様)

日	令和7年11月2日(日) 10:00~15:00 晴れ
場	県立21世紀の森
参	29名(大人27名、幼児1名) ※大人1名、幼児1名は見学
県	水源環境保全課 長井副課長
イ	L森本⑰、岩田⑭、牧石⑭、鈴木⑯
活	午前: 間伐作業、午後: 自然観察

◆ 小田原市森林組合「民家の学校森林講座」

日	令和7年11月2日(日) 9:00~13:30 曇り
場	小田原市いこいの森
参	24名
ス	小田原市森林組合佐藤様
イ	三浦⑰
活	午前 間伐

◆ 豊かな森林づくり事業 畑引山地区町有林植栽

日	令和7年11月4日(火) 8:00~12:00 晴れ
場	箱根町箱根字畠引山 381-4 町立森のふれあい館周辺
参	50名(大人5名・小人(箱根中学一年生)45名)
ス	箱根町
イ	L石原⑧、野牛⑧、堀口⑯、内田⑰
活	森林レクチャー・植栽体験

◆ 県民参加の森づくり活動 間伐

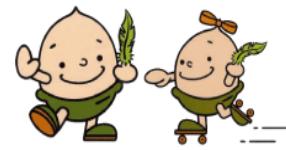
日	令和7年11月5日(水) 8:30~15:00 曇り
場	箱根町畠宿(県有林)
参	73名(一般参加者)
財	古館様 志村様 <input checked="" type="checkbox"/> 佃様
ス	小田原市森林組合 2名様
イ	L滝澤⑤、斎藤⑧、内野⑨、上田⑩、上宮田⑪、西出⑫、牧石⑭、鈴木⑭、石垣⑮、小林⑯、小池⑰、内田⑯、大川⑯、佐伯⑯、鈴木⑯、田中⑯
活	間伐 (午後・箱根高原ホテルにて温泉入浴)

◆ 日揮パラレルテクノロジーズ株式会社様 ミッション研修

日	令和7年11月7日(金) 10:00~12:00 晴れ
場	やどりき水源林
参	44名
財	志村様
イ	L石垣⑮、鈴木⑭、牧石⑭、久次米⑯、内田祐子⑰、藤田⑰、内田千春⑰、藤巻⑰
活	午前 林道散策 31名 / リース作り 13名



緑の募金
シンボルマーク



緑の募金キャラクター
どんぐりくん・どんぐりちゃん

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

◆ チューリッヒ保険会社様

チューリッヒの森 森林再生活動

日	令和7年11月8日（土）10:00～14:00 曇り
場	やどりき水源林
参	52名（大人41名 子供11名）
県	神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課 町田主査
イ	L岡村⑯、菊地①、西出⑫、大谷⑦、小国⑯、指澤⑯
活	ツル切り、自然観察とドングリクラフト



◆ 株式会社日新・森林再生パートナー活動

日	令和7年11月9日（日）10:00～14:00、雨
場	やどりき水源林
参	参加者 32名
イ	L藤田⑯、西出⑫、石垣⑯、田島⑦、野口⑯、指澤⑯
活	午前 自然観察、午後 丸太切り体験、自然観察

◆ 大和市立北大和小学校 木育体験教室

日	令和7年11月10日（月）10:00～14:30 晴れ
場	大和市立北大和小学校 体育館
参	222名（2年生児童 115名 保護者 107名）
ス	学年委員他 10名 担当教員 5名
イ	L石垣⑯、末原⑯、中村⑯、松浦⑯、伊藤⑯、大川⑯
活	午前 竹切り準備、午後 竹クラフト (5クラス交替で ①竹切り②竹にペイント・リボン付け ③森のクイズ ④ 輪投げ を体験)

◆ 横浜市立永谷小学校 間伐体験

日	令和7年11月12日（水）10:45～12:00 晴れ
場	宮ヶ瀬湖畔園地内 千年樹植樹地
参	こども 63名、大人 10名
財	みどり森林課 倉野様
イ	L小国⑯、松石⑯、野牛⑧、伊藤⑯、田中⑯、川島⑯、繩山⑯
活	間伐体験、林内整備

◆ 日本ヒルティ様 森林再生活動

日	令和7年11月13日（木）10:00～14:30 曇り
場	県立21世紀の森
参	15名
県	神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課水源事業グループ 星様 熊谷様
イ	L石垣⑯、西出⑫、牧石⑯、小林⑯、鈴木⑯
活	午前 間伐、午後 枝打ち

◆ 神奈川県内広域水道企業団様

令和7年度森林づくり活動

日	令和7年11月14日（金）10:00～15:00 晴れ
場	千代の沢園地、世附水源公有林
参	20名
県	水源環境保全課 野口技師、星主事
イ	L森本⑯、上宮田⑪、前田⑪、角石⑯
活	午前 自然観察、午後 間伐

かながわしづくちゃん Twitter は下記URLで見ることができます。

かながわの水環境
保全・再生をめざして

https://twitter.com/kanagawa_sizuku

◆ かながわ木づかいフェア（象の鼻パーク会場）

日	令和7年11月15日（土）、16日（日） 10:00～16:00、各日 晴れ
場	象の鼻パーク（横浜市中区海岸通り1）
参	453名（11/15：154名、11/16：299名）／ 「木のいろ」扱い分を含む
イ	11/15（土）L森本⑤、菊地①、安部⑤、 小笠原⑯、内田⑯、川口⑯ 11/16（日）L森本⑤、安部⑤、大原⑯、小野⑯、 田中⑯
財	11/15 豊丸課長、11/16 倉野様
協	11/15・16 「木のいろ」福本様ほか2名
活	水源事業PR：紙芝居・クイズ・水源涵養機能実験、 葉巻笛、文字クイズ、森林探訪ガイドブック販売 「木のいろ」：木工クラフト (レーザー加工によるワークショップ)

人も自然も
いきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページ
でご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

やどりき水源林ミニガイド

「やどりき森の案内人」

「森の案内人」 森の案内人は12月～2月はお休み。3月から再開します。

「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。

やどりきの森へ行こう！

水源林のミツマタ群生鑑賞のお知らせ

2026年3月15日（日）★少雨決行

申し込みは上記リンク先から！



森林探訪ガイドブック 好評販売中！

『森林探訪ガイドブック』は、かながわの自然を愛する森林インストラクターが力を結集して企画・編集したガイドブックです。

A5フルカラー52頁、動植物や史跡等の写真多数、地図、高低差図、ミニ動画ガイド付きです。在庫がなくなり次第、販売終了となりますので、お早めに購入申込みしてください。定価：相模川以西、相模川以東 各700円（税込）右のQRコードから！



やどりき水源林問合せ：(公財)かながわトラストみどり財団

TEL : 045-412-2255 / FAX : 045-412-2300

<https://ktm.or.jp/> Mail: midori@ktm.or.jp

かながわ森林インストラクターの会

<https://www.forest-kanagawa.jp/> Mail: kinst0981@friend.ocn.ne.jp

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会

宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

森のなかまは過去号もご覧になれます

(ホームページ) <https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当:森本 利弘)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

<広報全般お問い合わせ>

河西 静夫

skasai0618@gmail.com

<電子配信会員向け担当>

小池 宗子

muneko-sakura@outlook.jp

<本誌、別冊原稿送り先>

河西 静夫

skasai0618@gmail.com

小国 一男

ka-oguni@ab.auone-net.jp

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも上記に2名にお送りください

◇ 編集後記 ◇

★ 先月末、友人と新宿御苑に行ってきました。蘭展と菊展が開催中で、華やかな花々の展示は見応えがありました。ちょうど紅葉も見頃で、銀杏、もみじ、ユリノキ、スズカケがキレイに色づいてました。帰り道に近くの文具屋で、色とりどりの野帳を見つけ、土産に買いました。今週は日暮里に材料を買いに行き、冬場にいろいろなクラフトを作る予定です♪
(長尾晴)

★ 色鮮やかな木々の葉も落葉し、すっかり冬の姿へと移り変わりました。この季節になると厳しい冬の寒さに耐え、春を迎える準備をしている木々の冬芽が気になります。緑色の雄花を付けたヤシャブシ、毛で覆われているヤブムラサキ、3月には綺麗な黄色い花を咲かせるミツマタのつぼみなど、木々ごとに特徴のある冬芽が楽しめます。皆さんも防寒対策して冬の森を散策されてはいかがでしょうか。（森本利）

★ 会員の皆様、活動への熱心なご協力に心より感謝申し上げます。

本年も、森林整備の重要性や自然観察の楽しさをより多くの方へ届けるべく、広報活動に注力してまいります。会員の皆様が現場で感じた「森の魅力」や「活動の喜び」こそが、何よりの発信力となります。写真の提供や情報のシェアなど、皆様の温かいご支援をいただけますと幸いです。共に森林での楽しい活動の様子を伝えていきましょう。本年もよろしくお願ひいたします。
(河西)



編集人：河西 静夫

広報部：黒川 敏史、松本 保、

笠原 かずみ、長尾 晴子、小林 照夫、大友 博道、小国 一男、小池 宗子、森本 利弘

支援：大原 正志、吉田 郁夫